

教育學部
資料室

38 小国 325
光村

文部省検定済教科書

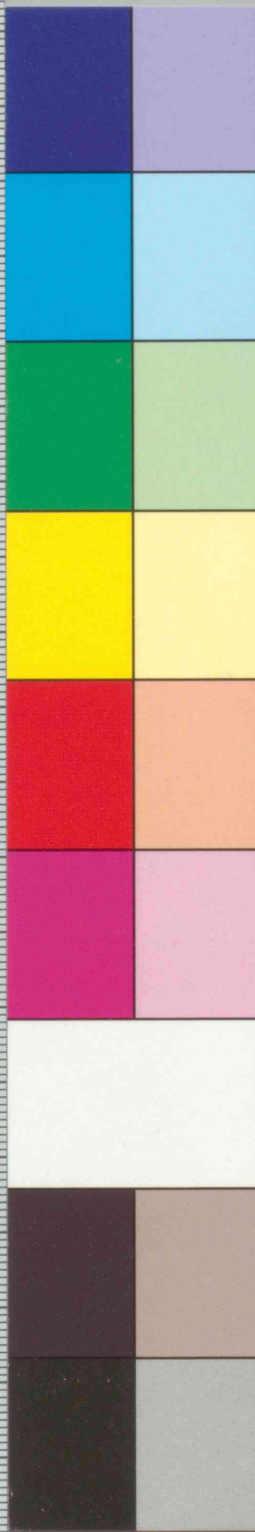
教科書文庫
6
720
34-1950
0130449894

石森延男編
金田心象書

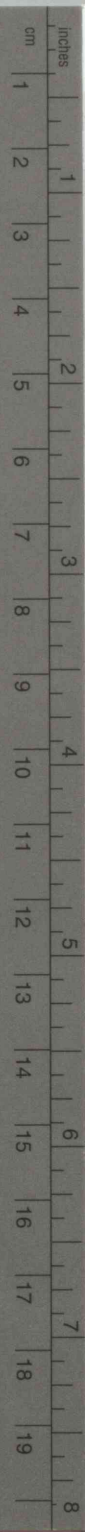
書はかた
三年下



KC4
Mi65



Kodak Color Control Patches
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale
© Kodak, 2007 TM: Kodak



60276
教科書文庫
6
720
34-1950
0130449894



昭和二十五年八月十二日
文部省検定済 小学校国語科用

中央図書館

もくじ

一、書くときのしせい	1
二、きめたこと	2
三、うた	4
四、かんさつ日記	8
五、プログラム	16
六、わらい話	18
七、しらべたこと	20
八、学級日記	22
九、読んだもの	32

寄贈

一 書くときのしせい (このしゃしんをみてしせいをよくしよう)



教科書文庫
6
720
34-1950
0130449894

広島大学
教育学部図書

広島大学図書
0130449894

広島大学図書
0130449894

二 きめたこと (みんなて きめたことや やくそくしたことを はっきり書きとめる)

学級できめたこと

紙くずなどをちらさないように。

教室でははっきりした声でいうこと。

人のいう話をよく聞くこと。

いつもしを正しくするよう。

じぶんの 学校で きめたことを 書こう

Blank lined writing area on page 3.

(たてけいに うたを きれいに 書く) (書いた うたを よんで みる)

おかあさんから いただいた
ひとふさのぶどう、
七十六つぶの実がついていた。
ひとつぶひとつぶに
小さな種がはいつていた。

おや、こんなところに
びわの木が生えているよ。
こんなところで
こっそりとびわの実をたべた
子どもがいるんだね。

(よこけいの中に書いていく けいこをする)

8月11日 晴

まめらしくサヤがシカクとしてきた。色は
茶色、長さはセンチ。たくさんついでいる。
ぼくはうれしくておとうさんにも、おかあさん
にも、見ていただく。

(五行ずつ 手本を見て書く)

9月1日 くもり 風

あらしになりそうなのでしんぱいだ。何度も
見に行った。見に行くたびに、サヤにさわってみ
た。そんなにさわったらまめが育たないと、
おかあさんに注意された。

10月21日 晴

いよいよ取り入れをした。えだをさかさにして日なたにほしておいた。根にまゐるハクサイハツバツバがっついてゐる。おれはなんだろう。ハツツしるべることかぶせた。

10月29日 晴 風

ござの上にはした。はちんとはじめて、ハツツとハツツすまめもあった。ビール飲んでサボをどんどんたたくと、ころころとだハツツがころかりた。白っぽいまめの色がきいろになった。

五 プログラム (いろいろなプログラムの書きかた)

学校のラジオプログラム

一、唱歌「秋の山」「母の歌」 合唱

二、作文「山あそび」 高木はる

三、わらい話 野口ひでお

四、オルガンどくそう 田中ゆき子

五、お話「ゴングスのたまご」 木村ひろし

六、どくしよう「コスモス」「海」 大井みつえ

七、ラジオげき「海ひこ山ひこ」 みんな

あいなつ 中野先生
しかい 石田とおる

井

このほかのプログラムを書こう

七 しらべた・こと (しらべた ことを たてけいにはっきり書いておく)

学級ぶんこしらべ

どうわの本

二十ヤ、つ

えものがたりの本

十五ヤ、つ

りかの本

十一ヤ、つ

うんどうの本

六ヤ、つ

子どもしばいの本

四ヤ、つ

さんすうの本

三ヤ、つ

子ども文集

二ヤ、つ

おかしばなしの本

一ヤ、つ

おんがくの本

一ヤ、つ

じぶんの 学級ぶんこを しらべて みよう

三月十一日 水曜日 くもり

第一時間めに、先生が新しくこの学級には
いてきた人をしょうかいされた。小川かずおと
いう名だ。小川くんは、おかあさんとふたりま
りで、まんしゅうからひきあげてきたのだそ
うだ。はじめおかあさんのこまよりの北海道
におちついたが、こんどに、いさんをたよって、ここ
にうつってきたのだ。

でも、小川くんは、このとおり元気です。みんな
もなかよくして、いい友だちになってください。

先生がこういってから、小川くん

「きみはなにがすきだね。」

ときかれた。

「ぼくは、おんがくがすきです。」

とはきはきした声で答えた。

おひるごはんがすんでから、みんなが小川くん
に何か歌ってほしいと、こうと、小川くんはちっとも
はにかまないで「春の小川」を歌った。

みんなは小川くんが「春の小川」を歌ったとい
て喜んだ。

三月十三日 金曜日 風、くもり

「きょうから」この一年について、めいめいまとめたものを発表することにした。

「わたくしのせい」という題で、ただしくんが作文をよんだ。まっすぐにあるくことをけいこしてから、だんだんしせいにちゅう、するようになり、本をよむ時も、字を書く時も、前よりはしせいがよくなったように思う。おとうさんにほめられてうれしかったという作文であった。

三月十四日 土曜日 晴

風がすっかりおさまった。明る、空から春がくるような気がする。

きょうも「この一年」の発表がつづいた。

「わたしのよんだ本について」

「しゃかいかでしらべたこと」

「温度表について」

「わたしのかいたえ」

「ことばづかいのこと」

どれもおもしろくてためになる発表であった。

三月十六日 月曜日 晴

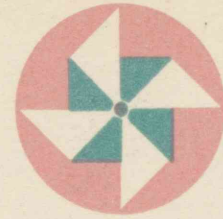
きょうの自治会は「学年末について」話しあった。次のことがおもに問題になった。

一、「この一年」の発表はおしまいまでつづけること。

二、二年生の時も一年生の時もふりかえってみる。

三、四年生になる前の心がけ。

今まですぎやっただことについて話しあうことにもたのしかった。じかしまだ、四年生になることについて話しあうのもたのしかった。



3

下

なまえ

広島大学図書

0130449894



出版株式会社